

持続可能性を見える化

ULジャパン

SDGs関連 データなど 管理ツール提供

ULジャパンは、サステナビリティ管理ソリューションの日本展開を進める。関連データを一括

収集・可視化するクラウドシステムと、アドバイザリーサービスなどの導入支援を広く提供する。

化学業界で需要が大きい労働安全の事案発生件数

・対策の全トラッキングなどにも対応し、欧州を

中心に義務化の動きがある非財務情報の管理に適合する。カーボンフット

プリントに特化したシステムも年内をめどに顧客

導入を始める。企業活動

へのSDGs（持続可能

な開発目標）などの取り入れ、体質強化を求める動きに依っていく。

環境・健康・安全（EHS）といったサステナビリティ管理システム

「UL360」などの市場開拓を推進する。日本

企業は省エネなどの環境対策や労働安全の取り組みなどが発達している一

方で、国際指標への落とし込みや情報公開が弱い

課題がある。国際的に普及が進むシステムで、社内管理と対外アピールの

両面の強化を促す。

UL360は非財務情報

の収集・管理、自動レ

ポート作成などがブラウザベースで利用可能。拡張性が高く、グローバル

レポートインゲイニシアチブ（GRI）などの指標、SDGs項目との比較

評価にも適合する。とくにSDGsは「データ

での明示化で引き合いが多い」（同社）ことから需要が高いとみている。

普及に向けアドバイザリーサービスなどの導入

支援を前面に押し出す。環境・安全情報の管理は

企業ごとに状況がさまざま

なため、部署から全社

での導入、個別項目から

対応する。

カーボンフットプリント向けの「ターボカーボン」は、サプライチェーンの全体管理などを念頭に、需要が多い領域を単体パッケージとしても提供する。UL360との連携なども対応しており、「顧客の状況に即した最適なものを提案する」（同社）かたちで早期導入を目指す考え。